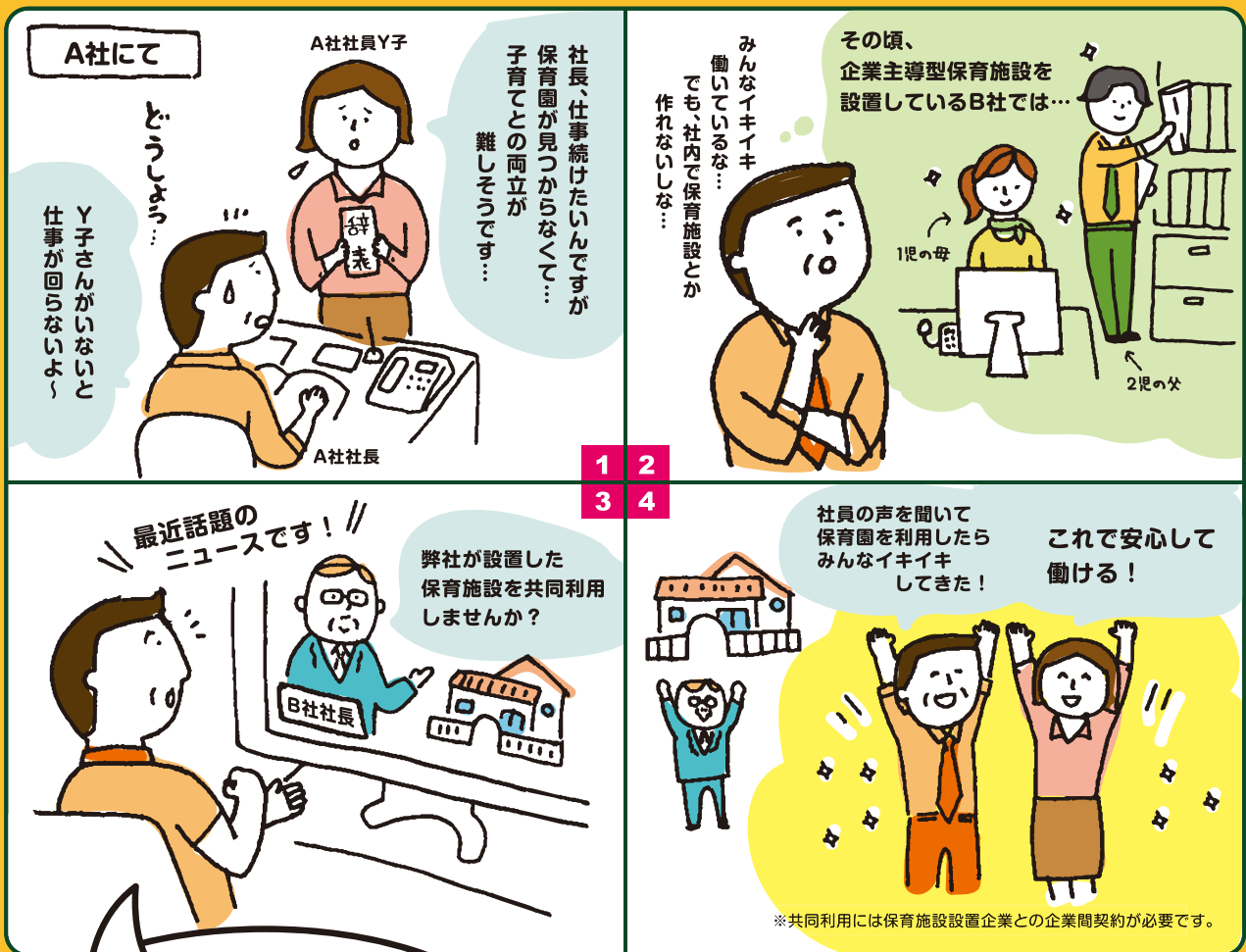


人材確保・離職防止に効く 働く人のための**保育園** 共同利用！

(企業主導型保育施設※)



そっ、そうか！
**うちも企業主導型保育施設が
利用できるんだー！！**

自ら保育施設を設置しなくても、他企業が設置した企業主導型
保育施設と契約することで保育施設の利用が可能に。育児による
離職防止や、新規採用に向けた職場環境アピールにつながります。



※企業主導型保育施設とは…

企業が従業員の子どもを対象として、事業所内や近隣地に設置する保育施設のことで、認可保育施設並みの助成(整備費・運営費)を受けています。施設設置企業と利用枠契約を締結した企業(「子ども・子育て拠出金」を負担している必要があります)の従業員の子どもも利用することができます。



設置済みの企業主導型保育施設を「共同利用」する

メリットはさまざま！人材確保・離職防止に役立ちます！！

企業側のメリット

- **子育て世代の活躍**
産休・育休からの復帰がスムーズ
- **エンゲージメントの醸成**
子育てへの積極的支援は従業員から会社への感謝と信頼を育む
- **離職防止**
出産、育児による離職を防ぐことができ、復帰など人事計画を立てやすい
- **人材確保**
求職者の応募動機となり得る
- **企業イメージの向上**
職場環境整備に積極的な企業としてPRできる



従業員側のメリット

- **希望の保育施設が利用できる**
場所、利用時間、保育サービスなど自身のニーズにあった保育施設を利用できる
- **キャリアの継続**
育児と仕事の両立が実現できるためやりがい重視できる
- **安心して働くことができる**
ロールモデルがいることで将来のライフステージの変化への不安がなく働くことができる
- **男性従業員にもメリット**
共働き世帯が多く、男女関係なく福利厚生として魅力的である



共同利用のイメージ

働く人のための保育園 (企業主導型保育施設)

共同利用契約



共同利用契約したA社社長
設置したB社社長

※複数施設との共同利用契約も可能

従業員枠 (従業員の子どもが利用)

自社従業員枠
設置したB社の従業員の子ども

共同利用枠
A社従業員の子ども

地域枠 (従業員以外の地域の子どもが利用)

地域の子ども

※地域枠を設定していない施設もあります。

「認可外保育施設の多様性・柔軟性」と「認可保育施設並みの施設・保育水準」の両方を備えています

	認可保育施設	企業主導型保育施設	一般の認可外保育施設
基準	施設の設置基準、保育従事者の配置ほか運営基準等は認可保育施設と同水準。		認可保育施設と基準が異なる。
助成	施設の工事費や運営費に認可保育施設並みの助成を受けている。		国からの助成がない。(一部、独自に助成を行う市町村がある。)
多様性柔軟性	市町村に利用を申し込み、市町村が施設を指定する。住民票のある地域の施設に限られる。	居住地域に限られず、利用したい施設に申し込むことができる。提供する保育サービス(開所日、時間、保育プログラム等)に独自色を出せ、自由度が高い。	

● 保育施設利用までの簡単な流れ



※共同利用には保育施設設置企業との企業間契約が必要です。

契約時に明確化する必要のある事項

- ① 自社の児童が利用できる定員数
- ② 定員枠に関する契約企業の費用負担にかかる取扱い

※保育の内容や安全対策等についても十分に確認しましょう！

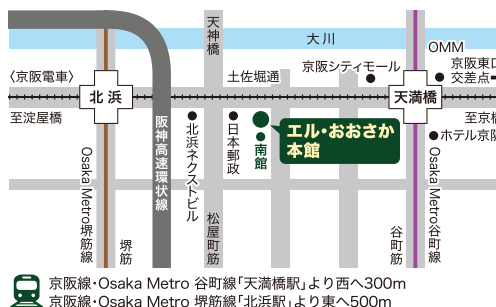
問い合わせ先

OSAKAしごとフィールド 中小企業人材支援センター
TEL 06-6910-3765 【営業時間】 平日9:30~18:30 (17:30受付終了)

支援内容 : ● 共同利用に関するセミナー・交流会・相談会の開催
● データベースを活用した企業主導型保育施設の情報提供

OSAKAしごとフィールド <http://business.shigotofield.jp/>

〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 エル・おおさか 本館3階 中小企業人材支援センター内



京阪線・Osaka Metro 谷町線「天満橋駅」より西へ300m
京阪線・Osaka Metro 堺筋線「北浜駅」より東へ500m